

平成24年度

事業計画書

平成24年4月 1日から

平成25年3月31日まで

公益財団法人 **たんしん地域振興基金**

I. コミュニティ活動及び産業活性化の活動に対する助成事業（公益目的事業1）

〔事業の目的〕

営利を目的としないコミュニティ活動及び産業活性化の活動を行う団体等の事業活動に対する支援を通じて、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. コミュニティ活動に関する助成事業

但馬地域の団体等が、但馬地域で行うコミュニティ活動に係る事業に要する資金の一部を助成する事業を行う。助成の対象とする事業活動は、営利を目的としたものでない、公募により申請があった次の①～⑥に掲げる事業である。（1件100万円以内）

平成25年度の助成事業を一般公募する

- ①文化芸術の振興に関する事業
- ②スポーツの振興に関する事業
- ③社会福祉の向上に関する事業
- ④自然環境保護に関する事業
- ⑤地域の振興、活性化に関する事業
- ⑥コミュニティにおける教育の普及に関する事業

2. 産業活性化の活動に関する助成事業

但馬地域の団体等が、但馬地域で行う産業活性化の活動に係る事業に要する資金の一部を助成する事業を行う。助成の対象とする事業活動は、営利を目的としたものでない、公募により申請があった次の①～④に掲げる事業である。（1件100万円以内）

平成25年度の助成事業を一般公募する

- ①産業技術の研究開発等に関する事業
- ②商業・観光業振興に関する事業
- ③異業種交流に関する事業
- ④産業活性化に繋がる教育の普及に関する事業

3. 中小企業大学校の講座受講に関する助成事業

産業活性化の活動の一つであるが、特に、企業の人材育成に関する事業への支援として、但馬地域内の事業所の経営者・後継者・管理者等が中小企業大学校関西校の各研修コースを受講する場合、受講者の所属事業所に助成金を交付する事業を行う。（1件3万円以内、1事業所年間合計助成額6万円以内）

通期で助成の受付を行い、予算終了まで受付順に助成をする。

Ⅱ. コミュニティ活動及び産業活性化の活動に対する自主事業（公益目的事業2）

〔事業の目的〕

当法人が自ら自主事業を行うことで、但馬地区におけるコミュニティ活動及び産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. 経営塾の運営事業

但馬地域の産業活性化を担う人材を育成するため、満50歳未満の但馬地域の若手経営者、後継者、幹部等を対象に、講師を招聘して、経営理論に裏付けられた実践的な経営講座を2年間にわたり開講する事業を行う。また、塾生間の交流に伴う異業種交流組織としての運営も本経営塾の活動の目的の一つとしている。

開催頻度は2ヶ月に1回で、2年間（9月から2年後の7月まで）で12回の講座を開講し、その内訳は基礎講座を9回、実践講座を3回開講する。

2. 経営者セミナー事業

年1回、中小企業経営者を対象に、経営者としての資質を向上させるため、産業活性化やコミュニティに関するセミナー事業を但馬信用金庫と協賛して行う。（経営者に限らず一般の受講者も参加させる。）

第19回経営者セミナー

日 時	平成25年1月
会 場	但馬信用金庫本店（未定）
テーマ	未定
人 員	100人程度
講 師	未定

Ⅲ. 但馬地域の情報発信 並びに 特定団体等への活動支援事業

(その他の事業[相互扶助等事業]1)

[事業の目的]

当法人が、次の1～3に掲げる事業を行うことにより、但馬地域において、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与する。

1. ホームページ「但馬の百科事典」運営事業

但馬地域において、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援するために、インターネット上に『但馬の百科事典』を公開して、但馬地域を紹介する情報発信活動を行っている。『但馬の百科事典』は、但馬に関する9項目（「先人たち」「文化伝統」「歴史遺産」「自然」「産業」「観光名所」「温泉」「食」「但馬のイベントカレンダー」）の情報をホームページに開示しており、但馬の全ジャンルを網羅した本格的なWeb上の百科事典として、地域の小学校の但馬調べに活用され、また、メディア（各地のTV放送局等）から、人物などの写真や紹介記事の使用について問合せが来るなど評価されている。

平成24年度は、「歴史遺産」の項目に兵庫県登録有形文化財（8件）と兵庫県指定文化財（9件）を追加し、また、NHKの大河ドラマで放送されている平清盛にちなんで、平家伝承ゆかりの土地や建物などを紹介するページを1頁作成するなど内容の充実に努める。

2. 地場産業のイベントに対する助成事業

但馬の地場産業である製鞆業に対し、地場産業を活性化する目的で、豊岡鞆協会が主催する「かばんデザインコンテスト」へ例年一定の金額を助成する事業を行っており、平成24年度も「(公益財団法人)たんしん地域振興基金 理事長賞」として助成する。

3. たんしん経営塾OB会に対する助成事業

但馬の企業の経営者及び後継者、幹部等が集う「たんしん経営塾OB会」は、現在170名を超える規模となり、異業種交流やビジネスマッチングに不可欠な場となっている。そのOB会に、地域の産業活性化を目的として例年一定の金額を助成する事業を行っており、平成24年度も、同額を助成する。

IV. 管理部門（法人会計）

〔事業の方針〕

平成23年度は、10月に新制度の公益財団法人に移行し、期の途中で区分決算や移行後に決算方法を変更するなどの対応を行ったが、平成24年度は新法人として最初の通期の事業年度を迎える。

多くの公益法人が新制度で一般法人化する中であって、当法人は公益財団法人として認定され、当地域における民間の数少ない助成機関として、コミュニティ活動や産業活性化の活動を支援し、豊かな住み良い地域社会の創造に寄与することが求められてきている。今後も当法人への各方面からの期待や要請はますます高まるものと思われ、引き続き効率的な運営を行い、存続基盤の強化を図りたい。

1. 業務執行態勢の整備と強化

新法による新しい公益法人として、新定款による業務執行態勢の強化、定款及び内部規程の見直しやそれらに則った適切な法人運営を行う。

2. 情報公開

従来から求められている情報公開については、公益法人への移行に伴い平成23年11月より、たんしん地域振興基金のホームページに開示した。開示項目は、公表が求められている電子広告や必要な規程等だけでなく、役員等の名簿、事業計画、事業報告も公表している。平成24年度も、評議員会承認後遅滞なく開示する。

3. 事務局職員の教育

事務局職員の決算事務に関するレベルアップや制度改革に関する法令等の知識に関するレベルアップを図るため、積極的に外部研修等に参加させることで、今後の制度改革や法令の制定・改定等に則った態勢整備に努める。